

第385回 難研セミナー

下記により難研セミナーを開催しますので、多数御来聴下さい。

記

日 時： H19 年 6 月 21 日（木） 10：30 ～ 12:30

場 所： 大学院講義室：医歯学総合研究棟Ⅰ期6階

演 者： 塩見 春彦 教授
(徳島大学ゲノム機能研究センター)

演 題： RNA サイレンシング -生合成経路と機能-

要 旨：

2本鎖 RNA の発現または細胞への導入により誘導される配列特異的な遺伝子発現抑制機構である RNAi は、生物学における研究手法として、おそらく、PCR に次いで重要かつ革命的な技術である。しかし、RNAi の重要性は、むしろ、このメカニズムが多くの生物種において進化的に極めて古い生体防御機構として、また、ゲノムの品質管理機構として、そして 遺伝子発現制御機構として機能していることである。RNAi 関連分子経路の解析から、このメカニズムにおける鍵となる分子は 20-30 塩基長の小分子 RNA であることが明らかとなり、このような小分子 RNA による遺伝子発現抑制機構を現在では RNA サイレンシングと呼ぶようになった。

最近の研究から、私達のゲノムには膨大な数の小分子 RNA がコードされていることが明らかとなってきた。たとえば、microRNA の場合、55,000 程がコードされていることが予想されている。しかし、その大半が機能未知である。これら機能未知の膨大な数の小分子 RNA がヒトを頂点とする複雑な生命の「陰のプログラム」ではないかと予想される。本大学院特別講義では、RNA サイレンシングの分子経路とその機能を概説する。

連絡先：難治疾患研究所 神経病理学分野 岡澤 均 (内線 5847)
分子神経科学 ONSAとの共催による